

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【公開番号】特開 2005-346429 (P2005-346429A)
 【公開日】平成 17 年 12 月 15 日 (2005.12.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-049
 【出願番号】特願 2004-165530 (P2004-165530)
 【国際特許分類】

G 0 6 T 15/00 (2006.01)

A 6 3 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 15/00 1 0 0 A

A 6 3 F 13/00 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 5 月 29 日 (2007.5.29)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

仮想三次元空間内に配置された画像モデルを、前記仮想三次元空間内に設定された視点の視点座標系における透視投影面上に透視投影して得られる二次元画像を生成する画像処理方法であって、前記仮想三次元空間に配置される発光体を、発光源座標から前記投影面に向かった方向に距離成分を持ち、かつ、前記投影面側において前記方向に放射状に拡がる形状を形作る面からなるモデルによって構成し、当該オブジェクトに前記発光体の中心像とこれから放出される拡散光像とを描くようにした画像処理方法。

【請求項 2】

前記モデルが前記発光源から前記投影面側の終端まで放射状に拡がる立体から構成してなる請求項 1 記載の画像処理方法。

【請求項 3】

前記モデルが、前記立体に重なるべきフレア像が描かれたフレアモデルを更に備えて構成され、このフレアモデルの始点が前記立体の始点である前記発光源側に配置されてなる、請求項 1 記載の画像処理方法。

【請求項 4】

前記立体を錐型モデルから構成して成る請求項 2 又は 3 記載の画像処理方法。

【請求項 5】

前記発光体が、前記視点側に位置する障害物により、隠れる割合を示す食分に応じて、前記モデルの始点より終点までの距離を変化させるようにした請求項 2 乃至 4 のいずれか 1 項記載の画像処理方法。

【請求項 6】

前記食分に応じて、前記オブジェクトの透明度を変化させてなる請求項 5 記載の画像処理方法。

【請求項 7】

メモリに記憶された画像処理プログラムに基づいて、画像処理回路が、仮想三次元空間内に配置された画像モデルを、前記仮想三次元空間内に設定された視点の視点座標系における透視投影面上に透視投影して得られる二次元画像を生成し、これを表示装置に表示す

るように構成された画像処理装置であって、前記画像処理回路は、前記仮想三次元空間に配置される発光体を、発光源座標から前記投影面に向かった方向に距離成分を持ち、かつ、前記投影面側において前記方向に放射状に広がる形状を形作る面からなるモデルによって構成する手段と、当該オブジェクトに前記発光体の中心像とこれから放出される拡散光像とを描く手段と、を実行するようにした画像処理方法。

【請求項 8】

請求項 7 記載の各手段としてコンピュータを機能させるためのプログラムが記録された記録媒体。

【請求項 9】

請求項 7 記載の各手段としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

【請求項 10】

前記フレアモデルが、短冊状のモデルから構成してなる請求項 3 記載の画像処理方法。